

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 特定非営利活動法人 市民社会研究所

1 事業の趣旨・目的

日本での就労を目指す外国人に対し、企業等から日本語能力の証明が求められるケースが多いと言われている。そのため「日本語能力試験」の合格を目指す学習者が増えているが、日常会話や入門的な日本語の指導はできるが、能力試験を視野に入れた体系的な指導法がわからず戸惑うボランティアが多い。このことから、日本語能力試験合格を目指す外国人の日本語学習のサポートができるボランティアを養成する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
10月16日 10:00～ 12:00	四日市市 なやプラザ	西牧 義江 浅沼 よし子 浅野 幹夫 和田 明子 坂口 亘弘 秋月 享 松井真理子 牧野 智彦 金 憲裕	・講座内容の検討	・企画委員の紹介 ・企画内容検討 (目的・対象者・日時・ 会場・講師・テキスト等) ・広報について (チラシ配布先、HP、市広 報) ・今後の予定確認
12月23日 10:00～ 12:00	四日市市 なやプラザ	西牧 義江 浅沼 よし子 和田 明子 坂口 亘弘 秋月 享 松井真理子 牧野 智彦 金 憲裕	・講座前の状況確 認	・講座の募集状況 (受講生の状況、内容) ・講座内容の確認

2月25日 17:30～ 19:30	四日市市 なやプラザ	西牧 義江 浅沼 よし子 浅野 幹夫 和田 明子 坂口 亘弘 秋月 享 松井真理子 牧野 智彦 金 憲裕	・講座の報告 ・次年度について	・講座報告 (受講生の状況、内容) ・アンケート報告 ・成果と課題
--------------------------	---------------	--	--------------------	--

【写真】



3 講座の内容について

- (1) 講座名 【ボランティアのための「日本語能力試験」指導講座
- (2) 目標 日本語能力試験合格を目指す外国人の日本語学習のサポートができる
ボランティアを養成する
- (3) 受講者の総数 26 人

(4) 開催時間数(回数) 32 時間 (8 回)
講義 24 時間 (6 回) 実習 8 時間 (2 回)

(5) 参加対象者の要件

①日本語ボランティアの経験者

(6) 受講者の募集方法

- * 四日市市広報に掲載
- * 四日市市地区市民センター等の公共施設におけるチラシ配布
- * 人財ポケット通信による配布
- * 四日市市民活動支援センター「四日市市なやプラザ」での広報
- * 当団体および三重県国際交流財団のホームページ掲載

(7) 会場

ア 講義

・四日市市なやプラザ

イ 実習

・四日市市なやプラザ

(8) 使用した教材・リソース

- ・新日本語能力試験N1・N2・N3新傾向と完全予想模試
- ・新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集 N1,N2,N3 編
- ・合格できる日本語能力試験N3
- ・日本語能力試験 模試と対策N3
- ・新聞コラム
- ・新聞記事 など

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
1月7日 13:00～ 17:00	日本語能力試験について／新能力試験の概要説明(科目、レベルについて) N3試験問題をみて検討する	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	25名

1月14日 13:00～ 17:00	言語知識（漢字・語彙） の教え方／模擬試験問 題をみてレベル、内容を 確認したのち、効果的な 指導方法を考える	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	23名
1月21日 13:00～ 17:00	言語知識（文法）の教 え方／わかりやすい文 法解説の方法を学ぶ 文型の練習方法を考え る	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	20名
1月28日 13:00～ 17:00	読解の教え方／読解能 力とは何か考える 教材の選び方を学び、 読解練習の方法を考え る	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	19名
2月4日 13:00～ 17:00	聴解の教え方／聴解試 験ではどのような能力 が試されるのか、試験 問題を体験しながら考 える 効果的な練習方法を考 える	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	18名
2月11日 13:00～ 17:00	授業の組み立て方／科 目ごとに導入、練習、 まとめといった授業全 体の流れを考える	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	18名
2月18日 13:00～ 17:00	体験授業①／受講者が 実際に授業の組み立て を行い、発表する	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	19名
2月25日 13:00～ 17:00	体験授業②／受講者が 実際に授業の組み立て を行い、発表する	ARMS 日本語学校 教務主任 和田 明子 鈴鹿国際大学 非常勤講師 曾根 由香里	18名

(10) 講座の評価

①受講生によるアンケート

アンケート の 概要	○授業が丁寧で初めての参加でしたが楽しい時間でした。又、機会があれば受講したいです。 ○Nテストの概要が分かりよかったです。各分野にどのようなノウハウがあるのか技術的な実践をしてほしかったです。 ○自分自身の知識不足を痛感した。日本語についてもっと勉強したい希望が膨らんだ。 ○日本語に対する興味を深めて、もっと学んで行きたいと思っています。 ○はじめは一日が長く行き帰りの時間を考えるとしんどそうと思われましたが、4時間の講義は内容が充実していて、よかったです。 ○ボランティアが受ける講習としては少しレベルが高いように思う。受講者のうちでもその知識にかなりの格差がついたと思います。 ○講師の方が楽しくアレンジしてくださったので8回皆出席できありがとうございました。 ○以前ボランティアをしていた時は学習手順を考えず、学習者の希望に答える様な教え方をしていましたが受講者には体系立てて教える様にしたいです。
------------------	---

②実施主体からの研修内容結果評価

受講者は日本語能力試験について、試験科目、レベルなどを具体的に理解できたようである。また、講義や実習を通して、受験に向けた指導方法をある程度習得できたと思われる。これまで自己流で日本語を教えてきたが、より効率的な教え方がわかったという声も聞かれた。

反面、日本語指導経験者を想定しての学習プログラムのため、一部経験の少ない受講者からは内容がむずかしかったという指摘もあった。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・三重県立飯野高等学校(鈴鹿市)では、定住外国人対象に資格取得を目的とした講座を予定しているので、本研修の受講者に講座等に参加していただくようにしていきたい。
- ・四日市市は外国人集住地域で学校に通う子供たちの宿題支援の事業を実施しているので、多くの受講生がボランティアとして参加するよう支援していきたい。

② 研修後の人材活用

- ・三重県立飯野高等学校による講座への参加
- ・市内で活動する日本語サークル等での試験対策希望者へのボランティア紹介

- ・学校に通う外国人の子どもの、放課後学童クラブを兼ねた宿題ボランティア支援
- ・外国人集住地域での外国人への日本語指導

(12) 今後の課題

日本での就労を目指す外国人に対し、企業等から日本語能力の証明が求められるケースが多いと言われている。そのため「日本語能力試験」の合格を目指す外国人は増えているが、能力試験を目指す日本語学習者と、指導できるボランティアがいても、教室の運営コスト等の問題で、両者がうまくマッチングしないことがある。今後は、四日市市等の行政や企業、教育機関や日本語教室運営者が協働していく必要がある。

